

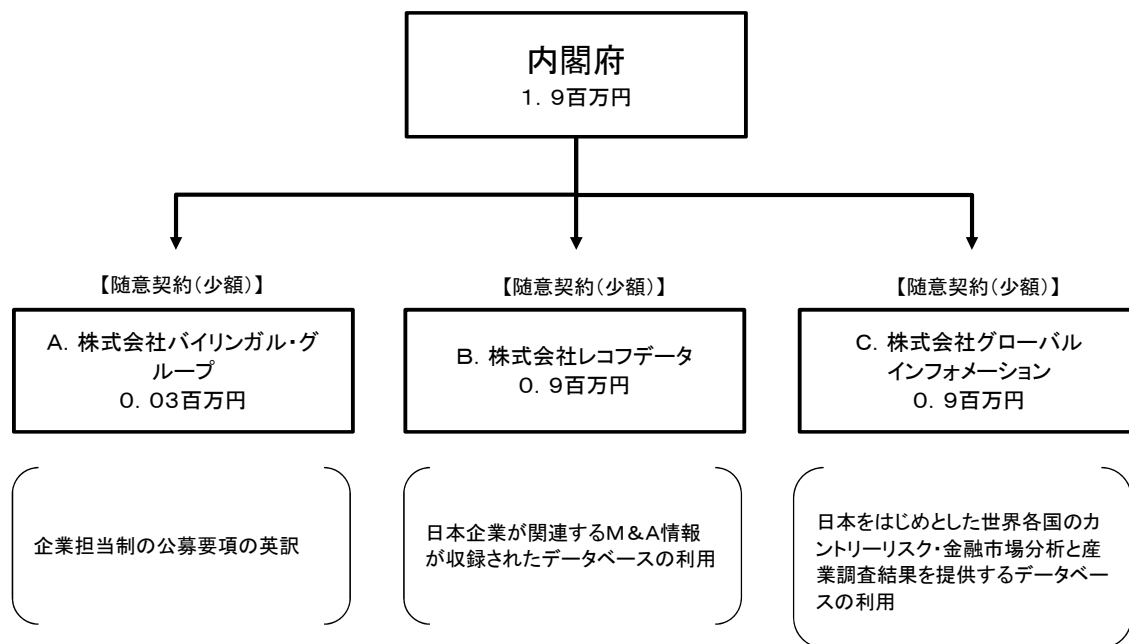
平成28年度行政事業レビューシート (内閣府)

平成28年度行政事業レビューシート（内閣府）											
事業名	対日直接投資の促進に必要な経費				担当部局庁		政策統括官（経済財政運営担当）			作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし		担当課室		産業・雇用担当			参事官 河西 康之	
会計区分	一般会計										
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	内閣府設置法第4条第1項第1～3号				関係する計画、 通知等		「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日閣議決定） 「まち・ひと・しごと創生基本方針2016」（平成28年6月2日閣議決定） 「経済財政運営と改革の基本方針2016」（平成28年6月2日閣議決定） 「外国企業の日本への誘致に向けた5つの約束」（平成27年3月17日対日直接投資推進会議決定） 「グローバル・ハブを目指した対日直接投資促進のための政策パッケージ」（平成28年5月20日対日直接投資推進会議決定）				
主要政策・施策	－				主要経費		その他の事項経費				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	我が国の事業環境の整備及び外国企業への情報発信を推進することにより、対日直接投資を促進させ、日本経済の成長力強化を目指す。										
事業概要 （5行程度以内。別添可）	「対日直接投資推進会議」を司令塔とし、対日投資を行う外国企業のニーズを踏まえた対内直接投資の改善に資する制度改革を迅速に実現していくため、関係会議や関係大臣の取組を促すほか、関係府省や関係機関における対日直接投資の推進に係る事務・事業等に関する情報を集約・把握し、必要な調整を行う。また、在外公館やジェトロ海外事務所が海外で行う対日直接投資案件の発掘・誘致活動についての情報や総理や閣僚のトップセールスに関する情報を集約・把握し、効果的な対日直接投資案件の発掘・誘致活動を推進する。さらに、外国企業の日本への投資活動に関係する規制・行政手続を抜本的に簡素化するため、同会議の下で開催される「規制・行政手続見直しワーキング・グループ」において検討を進める。										
実施方法	直接実施										
予算額・ 執行額 （単位：百万円）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	8.6	9.2	12.2	9.9	11.5				
		補正予算	－	－	－	－					
		前年度から繰越し	－	－	－	－	－				
		翌年度へ繰越し	－	－	－	－					
		予備費等	－	－	－	－					
	計	8.6	9.2	12.2	9.9	11.5					
	執行額		2.2	3.1	1.9						
執行率（％）		26%	33%	16%							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標最終年度 32 年度
	2020年までに外国企業の対日直接投資残高を35兆円に倍増する（平成25年6月「日本再興戦略」）。なお、対日直接投資を呼び込む上では、我が国の市場規模、成長見込み、地理的近接性等の要因によるところが大きく、対日直接投資推進のための政府の取組のみで進むものではないことに留意が必要		35兆円		成果実績	兆円	19.6	23.7	24.4	－	－
					目標値	兆円	－	－	－	－	35
					達成度	％	－	－	－	－	－
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 28 年度	目標最終年度 年度
	対日直接投資ホームページ英語版における1年間のアクセス数を増加させる		対前年増		成果実績	アクセス	3,654	8,486	9,459	－	－
					目標値	アクセス	－	3,654	8,486	9,459	－
					達成度	％	－	232.2	111.5	－	－

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	☐ チェック 28年度活動見込	
		提言・報告等の回数		活動実績	回	0	2	0	-	
				当初見込み	回	1	1	1	1	
単位当たりコスト		算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
		／		単位当たりコスト						
				計算式	/					
平成28・29年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	謝金		0.8	0.8	新たなWGの開催に当たり、必要な経費を計上(産業構造・金融市場動向調査分析)					
	職員旅費		1.6	1.5						
	委員等旅費		2.9	3						
	庁費		3.7	3.7						
	情報処理業務庁費		0.9	2.5						
	経済財政政策運営調査費		0	0						
	計		9.9	11.5						
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	-							
		施策	-							
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度
			-	実績値	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
			定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
			-	-	-	施策の進捗状況(実績)				
						-				
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
		-								

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	本事業により国内の企業や人材がグローバル経済の利益を享受できる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	制度改革等を通じて投資環境の整備を行うことが必要であり、地方自治体とも連携しながら政府として取組む必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	「日本再興戦略2016」において、対日直接投資の推進は、成長戦略の重要な柱として位置づけられている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	データベースは、対日直接投資の推進に真に有益な情報を提供するものに限って選定し契約をしている。		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	日本企業が関連するM&A情報や世界各国のカントリーリスク・金融市場分析と産業調査結果を提供するデータベースの利用等、真に必要なもののみに限定して計上している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標に向けて順調に進捗している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	概ね見込み通りの活動実績である。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	対日直接投資は成長戦略の柱に位置付けられており、優先度の高い重要政策である。平成27年3月、対日直接投資推進会議において「外国企業の日本への誘致に向けた5つの約束」を、平成28年5月の同会議で「グローバル・ハブを目指した対日直接投資促進のための政策パッケージ」を決定し、関係府省庁等が連携して取り組むこととされており、目標の達成に向け、本事業の効果的な実施を図っている。また、規制・行政手続見直しワーキンググループの実施にあたって予算を適切に執行していく。				
	改善の方向性	今後も必要な見直しを行いつつ、引き続き適正な執行に努めていく。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通	執行実績を踏まえ、必要な経費を精査し、概算要求に反映するべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	所見を踏まえ、引き続き必要な経費を要求することとした。					
備考						
内閣府 INVEST JAPAN 日本語版： http://www.invest-japan.go.jp/index.html 英語版： http://www.invest-japan.go.jp/en_index.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	0021	平成23年度	0030	平成24年度	0026	
平成25年度	0015	平成26年度	0017	平成27年度	0015	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 ☐ チェック						

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社パイリンガル・グループ	2010001026479	企業担当制の公募要項の英訳	0	随意契約 (少額)	-	-	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社レコフデータ	4010001116550	日本企業が関連するM & A 情報が収録されたデータ ベースの利用	1	随意契約 (少額)	-	-	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者 数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社グローバル インフォメーション	4020001065144	日本をはじめとした世界各 国のカントリーリスク・金融 市場分析と産業調査結果 を提供するデータベースの 利用	1	随意契約 (少額)	-	-	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							☐ チェック	